

今日のトピック 最近の指標から見る豪州経済(2015年8月)

景気は内需が下支え、中国減速の影響は限定的

ポイント1 消費は緩やかに加速

住宅市場の堅調さも続く

- 小売売上高は、住宅市場が好調なことや雇用環境が概ね良好なことなどを背景に、緩やかに加速しています。
- 住宅建設許可件数は、足元で伸びがやや鈍化傾向にあるものの緩和的な金融環境の中で拡大基調を維持しています。
- 雇用環境は、失業率が足元で上昇しているものの、雇用者数が増加傾向にあり、良好な状況です。
- 輸出は、中国向けが懸念されますが、豪ドル安で米国向けなどがけん引し、総じて底堅く推移しています。

ポイント2 物価上昇率は低位で安定

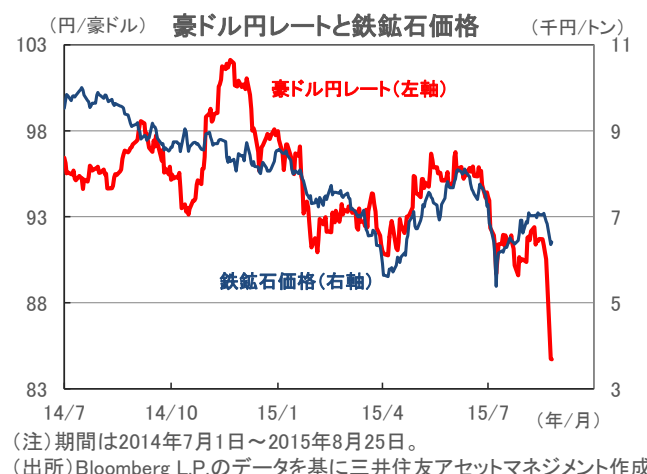
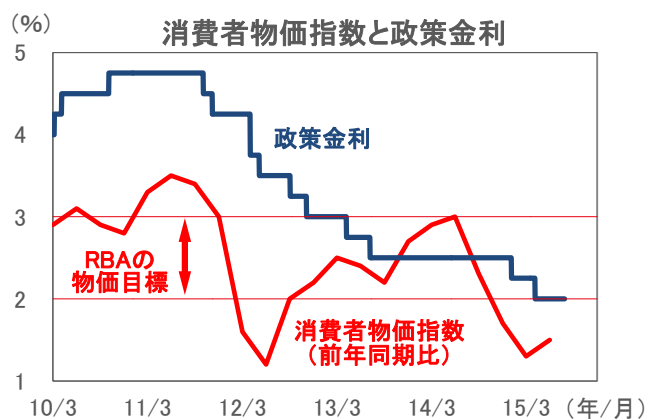
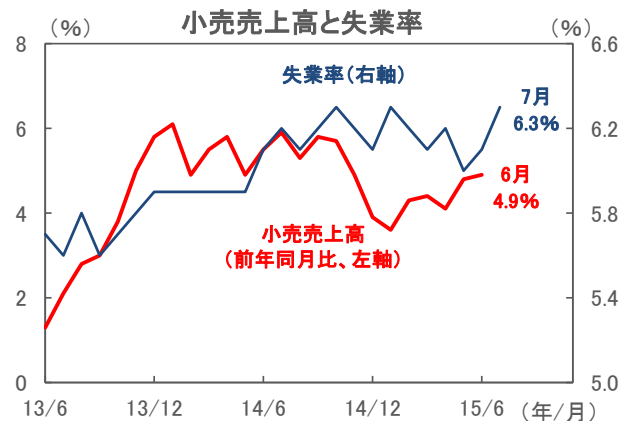
政策金利は当面据え置き

- 4-6月期の消費者物価指数は、前期から伸び率が上昇しました。原油・資源価格下落の影響が薄らいでいることや、豪ドル安が物価を押し上げていることなどが背景です。水準は、豪州準備銀行(RBA)の物価目標を下回っています。今後も、賃金上昇率や原油価格が低位にあることから、安定的に推移する見込みです。
- RBAは、8月4日の会合で、政策金利を過去最低の2.0%に据え置きました。RBAが従来から行ってきた豪ドル高へのけん制が後退していることや、緩やかな景気回復と低インフレが見込まれることから、政策金利は当面据え置きが見込まれます。

今後の展開

消費と住宅投資が下支え、豪ドルは安定化へ

- 景気は、設備投資の低迷を消費と住宅投資が下支えし、緩やかに回復する見込みです。雇用環境は、企業景況感の改善などから、良好な状況が持続しそうです。
- 輸出は、豪ドル安から中国以外が拡大しそうです。
- 政策金利が当面据え置かれる見込みや、中国の景気が政策対応により底割れが回避される見込みなどから、豪ドルの下押し圧力は徐々に緩和しそうです。



ここも チェック!

2015年08月25日 足元の金融市場動向、中国の景気改善を見極める展開へ
2015年08月04日 豪中銀、3会合連続の政策金利据え置き

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。